

加筆・変更箇所	加筆・変更前	加筆・変更後
p. 1-6, 第11行	2020年	2019年
p. 1-12, 脚注1	電場に比例する	磁場に比例する
p. 1-23, 下から第8行	表1	表8
p. 1-25, 下から第3行	Wbを	Wb mを
p. 1-32, 下から第6, 1行	超微細	微細
p. 1-33, 第3行	超微細	微細
p. 1-35, 第2行	式(100)	式(144)
p. 2-14, 式(50)-2 第2行第n 列成分	$\int \phi_1^* \phi_n' d\tau$	$\int \phi_2^* \phi_n' d\tau$
p. 2-22, 式(87)	$(\mathbf{i}, -\mathbf{j}, \mathbf{k})$	$(\mathbf{j}, -\mathbf{i}, \mathbf{k})$
p. 2-41, 式(143)	$y_n \mathbf{a}'_m$	$y_m \mathbf{a}'_m$
p. 2-53, 第8行	ψ_i°	ψ_i^*
p. 4-5, 第4行	誘電率	透磁率
p. 4-17, 第15行	式式	式
p. 4-17, 第16行	対応している	対応している
p. 5-5, 下から第12行	各運動量	角運動量
p. 5-6, 第11行	各運動量	角運動量
p. 5-25, 第15行	等速度回転	等速回転
p. 5-27, 図7	$-2m\boldsymbol{\omega} \times \mathbf{v}$	$-2m\boldsymbol{\omega} \times \mathbf{v}'$
p. 5-36, 第1行	最差運動	歳差運動
p. 5-36, 第8行	(式 ID112)	式(124)
p. 5-48, 第1行	$\dot{\chi}$	$\dot{\chi}$
p. 5-48, 第1行	ω_3	ω_3
p. 5-48, 第2行	χ	χ
p. 5-49, 下から第2行		$\left(\frac{1}{2} I_3 \left(\frac{L}{I_1} \right)^2 \cos^2 \theta \text{を1つ削除} \right)$
p. 6-9, 第10行	列自分	列自身
p. 6-9, 第14行	行列 A	行列 A
p. 6-14, 第8-9行	$(m_1 = -j, -j+1, \dots, j-1, j \text{に})$	$(m_1 = -j_1, -j_1+1, \dots, j_1-1, j_1 \text{に})$
p. 6-14, 第11行	$\langle j_1 m_1, j_2 j - m_1 j j - 1 \rangle$	$\langle j_1 m_1, j_2 j - m_1 - 1 j j - 1 \rangle$
p. 6-45, 脚注1	${}^3P_2(J=2, 1, 0, -1, -2 \text{の5状態}), {}^3P_1(J=1, 0, -1 \text{の3状態}), {}^3P_0(J=0 \text{の1状態})$	${}^3P_2(M_J=2, 1, 0, -1, -2 \text{の5状態}), {}^3P_1(M_J=1, 0, -1 \text{の3状態}), {}^3P_0(M_J=0 \text{の1状態})$
p. 6-45, 脚注1	$D(M_J=2, 1, 0, -1, -2 \text{の5状態}), P(M_J=1, 0, -1 \text{の3状態}), S(M_J=0 \text{の1状態})$	$D(M_L=2, 1, 0, -1, -2 \text{の5状態}), P(M_L=1, 0, -1 \text{の3状態}), S(M_L=0 \text{の1状態})$
p. 6-51, 式(264)	$J_z^2 1, 0, 1, -1 \rangle$	$J_z^2 1, 1, 1, -1 \rangle$

加筆・変更箇所	加筆・変更前	加筆・変更後
p. 6-59, 下から第8行	正規直交固有関数系(=完全系)	完全正規直交固有関数系
p. 6-68, 式(331)第2, 4行	J_1	j_1
p. 7-4, 下から第4行	1区画の遷移	1区画への遷移
p. 7-4, 脚注2	確率という言葉	確率という言葉
p. 7-17, 第2行	$g_{J'}$ が	$g_{J'}$ が
p. 7-23, 脚注2	Q	Q
p. 7-33, 式(153)	(式中すべて) E'	E'
p. 7-47, 式(229), (230)	$dN(v_C, \Omega)$	$d^2N(v_C, \Omega)$
p. 7-47, 式(232), (233)	$dN(v_C, v_D, \Omega)$	$d^3N(v_C, v_D, \Omega)$
p. 8-2, 下から第5行	大きが	大きさが
p. 8-6, 表1		(最下段の条件を非平衡時のみに適用する)
p. 8-12, 式(43)-1 (2箇所)	μ	μ
p. 8-12, 式(43)-1	E^*	E^*
p. 11-1, 式(1)	$R_{v''J''}^{v'J'}$	$R_{v''J''}^{v'J'}$
p. 9-29, 下から第5行	$Rd \ln p$	$nRd \ln p$
p. 9-29, 下から第3行	$Rd \ln V$	$nRd \ln V$
p. 9-32, 第19行	温度あるいは熱の移動	温度および熱・仕事
p. 11-1, 式(3)-2	π	π
p. 11-14, 第14行	(56)	(58)
p. 11-14, 式(60)	\sum_i	\sum_j
p. 11-19, 脚注2	・ ・ D_{nh} 点群は z 軸が全対称表現に	・ ・ D_{nh} 点群は x, y, z 軸が全対称表現に
p. 11-19, 脚注3	文献4の中で	G Herzberg, Molecular Spectra and Molecular Structure III, Electronic Spectra of Polyatomic Molecules, Van Nostrand Reinhold, New York, 1966で NH_2 を
p. 11-23, 式(116)		($\sum_{M, M'}$ の和は不要)
p. 11-24, 式(117)	$\sum_{M, M'}$	$\sum_{M', M''}$
p. 11-24, 式(118)	$\sum_{M, M'}$	$\sum_{M', M''}$
p. 11-26, 式(129)	$R_{e''v''J''}^{e'v'J'} ^2$	$ R_{e''v''J''}^{e'v'J'} ^2$
索引, p. 6, 右カラム(3箇所)	ギブス	ギブズ

2023年1月8日